

平成 23 年 10 月 5 日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長  
里 見 治  
( コード番号 6460 東証第一部 )  
問 合 せ 先 グループ代表室長兼グループコミュニケーション室長  
上 田 晃 一 郎  
( 電話番号 03-6215-9955 )

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 5 月 13 日に公表した業績予想（連結）を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## ●業績予想の修正について

平成 24 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 165,000	百万円 1,500	百万円 1,000	百万円 △3,000	円 銭 △11.92
今回修正予想 (B)	150,000	12,000	12,000	2,000	7.96
増減額 (B-A)	△15,000	10,500	11,000	5,000	
増減率 (%)	△9.1	700.0	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	217,807	46,849	46,098	24,349	96.66

## 修正の理由

遊技機事業において、一部のパチスロ及びパチンコ遊技機の販売スケジュールを戦略的に見直したことにより、第 2 四半期累計期間における販売台数は、パチスロ遊技機で約 52 千台（前回発表予想 42 千台）、パチンコ遊技機で約 181 千台（前回発表予想 235 千台）となる見込みです。また、コンシューマ事業においては、厳しい市場環境を受けて、主に海外における新作ゲームソフト販売が低調に推移しており、第 2 四半期累計期間における販売本数は前回発表予想を下回る見込みです。以上の結果、売上高については、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

一方、営業利益、経常利益、四半期純利益は前回発表予想を上回る見込みです。主に遊技機事業において、部材リユースを中心とした原価改善に取り組んだことに加え、一部の広告宣伝活動の自粛を行った結果、営業費用が減少し利益率が改善いたしました。また、アミューズメント機器事業における国内での販売、及びアミューズメント施設事業でのセガ国内既存店舗売上高が計画を上回って好調に推移いたしました。

なお、第 3 四半期に出荷を予定する主力製品の受注が好調に推移しており、通期の業績予想については、現在精査を行っております。見通しが明らかになり次第、速やかに公表いたします。

※本資料内に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上